
自動体外式除細動器（AED）の導入を決定しました

札幌大学では2005年12月に自動体外式除細動器（AED）の導入を決定しました。本学は約6200人の学生が修学していること、また、公開講座、図書館の学外利用者への開放、施設の貸し出し等、一般市民の方々も大学を利用する機会が増えてきたことから、平成9年からバリアフリー工事、自動ドアの設置、身障者トイレの設置等、施設の改修を行っています。本学は多くの人々が集まる場所であることから、今回、AEDの有効性を認識し、導入することを決定しました。設置箇所は医務室と体育館を予定しています。

今後、教職員及び学生を対象にAED講習会を実施する予定です。